

# 新井中央小だより

ホームページ <https://myoko.schoolweb.ne.jp/15020005>メールアドレス [myoko.araichuou-es@edu-niigata.ed.jp](mailto:myoko.araichuou-es@edu-niigata.ed.jp)

No. 316

2026（令和8）年3月19日

## 信じて、任せて、認めて…

## ～人権感覚を磨き続ける！～

令和7年度の教育活動も、あと2日となりました。23日に3学期終業式、24日に第35回卒業証書授与式が行われ、48人の6年生が卒業します。最近の6年生の成長には、目を見張るものがあります。式練習に臨む6年生の姿は堂々としていて、頼もしさを感じます。小学校6年間で振り返りながら自分の成長に気づき、卒業式や中学校進学に向け、目標を抱いているからでしょうか。今月5日に、「6年生を送る会」を行いました。この1年間学校のリーダーとして活躍した6年生に対して、お世話になった2～5年生が、心を込めて、歌やダンス、6年間の思い出の劇とクイズ、映像と感謝の言葉、ありがとうメッセージなどを贈りました。感極まって、涙を流す児童や、保護者の方、職員も多く、みんなが感動する「6年生を送る会」となりました。リーダーとして頑張った成就感、下級生からの感謝の言葉や行動が、この6年生の成長を促していると考えます。

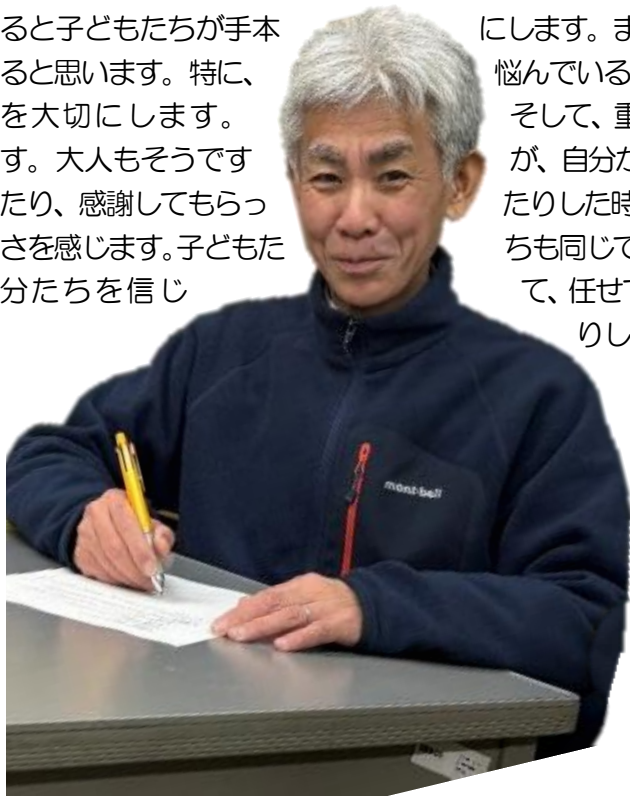


さて、当校では今年度「自分もみんなも 明るく うれしく よかったね」を合言葉に、人権教育、同和教育を柱にした教育活動を展開してきました。たくさんの御協力や御支援をいただいた指導者の皆様、地域・保護者の皆様、関係機関の皆様、本当にありがとうございました。

人権教育、同和教育を柱にする以上、当校で進めている人権教育、同和教育の手法は、子どもたちの成長につながっているのだからと日々考えています。何か子ども同士のトラブルなどが生じた時、「なかま」の時間での学習が日常生活に活かされなかった時に、特に考えたり、悩んだりします。

その中で、見えてきたことがあります。当たり前のことですが、「子どもの前に立つ私たち職員自身が、毎日人権感覚を磨き続けること」です。人権感覚が磨かれた大人の言動は、子どもたちの心に残り、ともすると子どもたちが手本にします。また、磨き続ければ、子どもたちへの対応も変わって来ると思います。特に、悩んでいる子どもは、自分を大切にされた対応を忘れず、今後人を大切にします。そして、重要なことは、「信じて、任せて、認める」ということで、自分が信じてもらい、任せてもらい、その上で認めてもらったりした時に、「自分は尊重されている」と何とも言えない心地良さを感じます。子どもたちを信じ、

そして、重要なことは、「信じて、任せて、認める」ということで、自分が信じてもらい、任せてもらい、その上で認めてもらったりした時に、「自分は尊重されている」と何とも言えない心地良さを感じます。授業中の学習でも、行事や児童会の活動でも、自分で、任せてもらい、褒めてもらったり、仲間へ感謝してもらったりした時に、「自分が大切にされている」「自分も みんなも 明るくうれしく よかったね」と感じ合えます。



上記の6年生の成長、また6年生を送る会を見事にやり遂げた5年生の成長は、「信じて、任せて、認めてあげ、感謝された」ことが影響していると思いますし、このことは人権を尊重する上で必要不可欠なことだと考えます。

6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんはこれからも人権について学び続けてください。皆さんの人権が尊重される明るい未来が待っています。自分らしく、思い切り羽ばたいてください。